

編集後記

電子ジャーナルが普及し、外国語雑誌は図表付で全文が閲覧できるものが増えている。料金体系は複雑で、冊子体とのセットで購読する場合、電子ジャーナルは無料、あるいは5〜20%程度の上乗せ料金を取られる。電子ジャーナルのみ分離販売される場合もあり、料金は冊子体より安いケースもあれば、同じか逆に高いケースもある。雑誌購読料は年々高騰している。しかし電子ジャーナルの利点は非常に大きく(研究者にとっては情報の迅速性・検索機能など、図書館にとっては重複購入削減・雑誌管理経費や書架スペースの節約など)、大学・研究機関ではなくてはならないものになっており、今やどの機関も高い購読料に悲鳴を上げている。

このような現状への対抗措置の一つとして「リポジトリ」が始まっている。リポジトリとは、論文や報告書をデータベース化して学内外に無料で公開する仕組みで、研究者は自身の論文別冊、あるいはその電子媒体(著者最終稿でも可)を附属図書館などに提出し、図書館ではそれを全文閲覧できる形に電子化する。その際著作権を確認し、著者、論文名、キーワードなどを(メタデータ)取り出し整理したうえで「リポジトリ」に登録する。登録された情報はGoogleなどの検索エンジンにかかり広く一般に利用される、という仕組みである。欧米ではすでに取り組まれ、日本でも国立情報学研究所のリードで参加機関が年々増え、いわば国策の領域に入っている。仮にすべての研究者が自身の発表論文をリポジトリに登録すると、電子ジャーナルは不要となり一大革命になるとされる。

このような動きと連動するように、最近発表論文を自分のホームページに転載する人が増えているように思う。医学雑誌は料金が高いので購読者は少なく、所属機関は必ずしも多くの雑誌を備えているわけではない。さらに、医師以外の読者に読んでもらいたいと思ってもほとんどその可能性がない。こういう状況の中では、自身のホームページとはいえ論文全体をネットに乗せる意義は大きい。この点ではおそらく学協会や雑誌社も協力せざるを得ないだろうし、実際に転載を許可しているようである。

しかし、仮にネットで広く論文を無料で見ることができるようになった場合、今の形の出版活動はどうなるのだろうか。情報革命は来るところまで来て、編集、出版活動の終焉という最も回避すべき事態に向かうのだろうか。今こそ、社会が情報を正しく扱う方策が求められているようだ。本誌の中味と必ずしも関係しない編集後記になったが、最近の関心事として紹介させていただきました。(S.I)

■ 編集委員

飯森眞喜雄

井上 新平

小島 卓也

小阪 憲司

松岡 洋夫

三國 雅彦

山崎 晃資

(ABC順)

精神医学 (第49巻 第10号)

2007年10月15日号 (毎月1回15日発行)

1部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5%)

2007 年 年 ぎ め 予 約 購 読 料 30,600 円 (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・小松原

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) 丹水社 電話 (03) 3561-1323

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- JCS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。